



ARCHITREND Manager

ARCHITRENDシリーズのファイル管理ツールであるManagerの概要から、お客様・工事の登録、データフォルダの追加、間取り検索、バックアップ・リストアなどの基本的な操作について解説します。

1. マネージャーの概要	1
1-1 画面まわりの機能	1
1-2 データの管理	2
2. お客様・工事の管理	3
2-1 お客様・工事の登録	3
2-2 データフォルダの追加	5
3. 間取り検索	6
3-1 間取りの検索	6
3-2 プラン集の作成	9
4. データのバックアップ・リストア	11
4-1 物件データのバックアップ	11
4-2 お客様データのバックアップ	13
4-3 データフォルダ全体のバックアップ	16
5. マスタのバックアップ・リストア	18

1

マネージャーの概要

ARCHITREND Manager (以降、マネージャー) は、ARCHITRENDシリーズのファイル管理ツールです。ARCHITRENDシリーズで作成したプランデータはもちろん、WordやExcelなどで作成した関連書類も一元管理し、マネージャーから直接起動できます。

1-1 画面まわりの機能

マネージャーの各部の名称や機能について確認しましょう。

フォルダー一覧

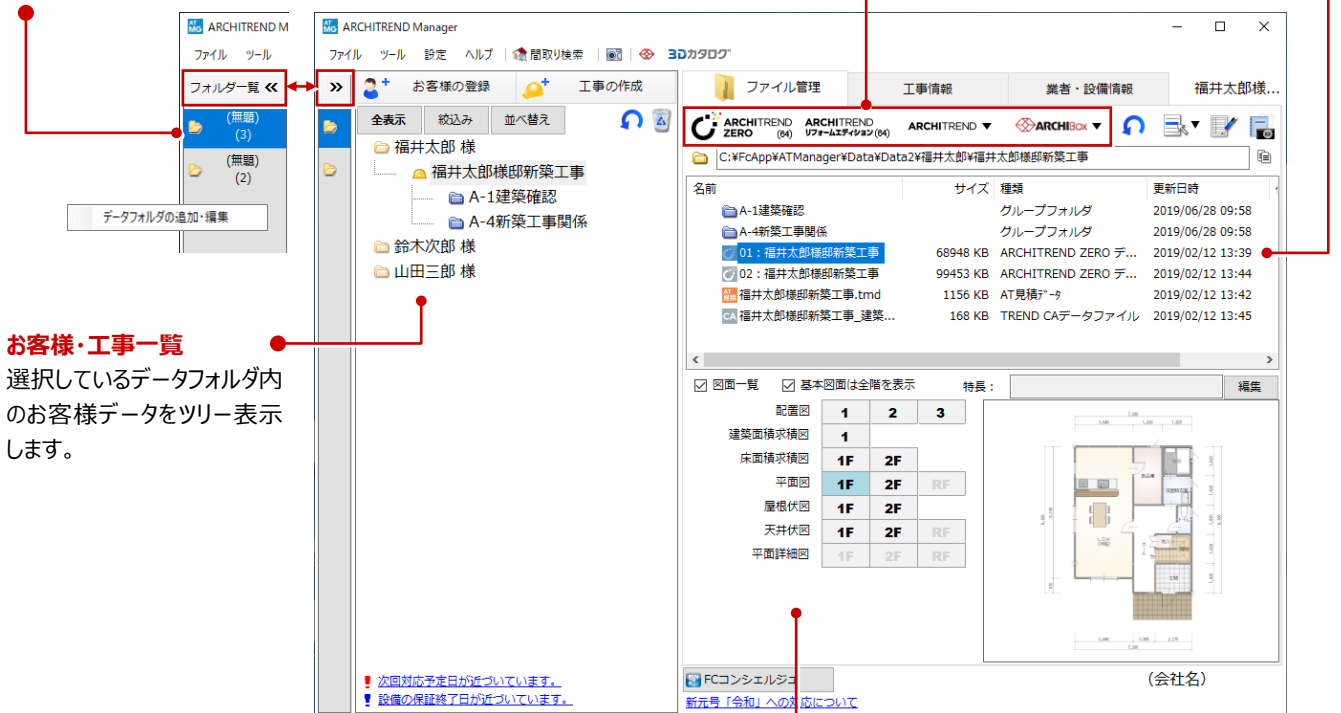
データフォルダが複数ある場合にフォルダを切り替えます。
データフォルダの追加・編集も可能です。
▶▶ で一覧表示を開閉します。

プログラム起動のコマンド

アイコン表示されているプログラムを起動します。インストールや契約設定されていないアプリケーションは表示されません。

ファイル一覧

選択した工事またはお客様に登録されているデータを一覧表示します。ダブルクリックでZEROデータを起動できます。

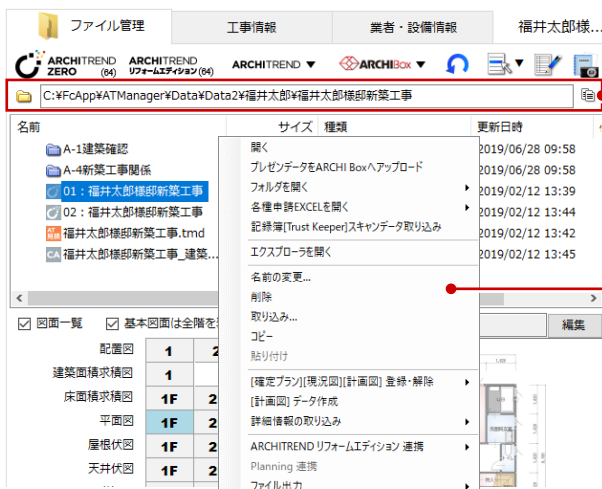


お客様・工事一覧

選択しているデータフォルダ内のお客様データをツリー表示します。

図面一覧

ZEROデータを選択した場合は、図面一覧と選択した図面（階または面）のプレビューが表示されます。



現在のフォルダのフルパスを表示します。

📁 : 現在のフォルダをエクスプローラで開きます。

📄 : 現在のフォルダのフルパスをクリップボードにコピーします。

ポップアップメニュー

データを右クリックすると開くメニューです。

登録データを操作する機能がまとめられています。

2

お客様・工事の管理

2-1 お客様・工事の登録

新しいお客様を登録する

- 1 「お客様の登録」をクリックします。
- 2 お客様の名前や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。

「グループフォルダも作成する」がONの場合、青いフォルダマークのグループフォルダが作成されます。グループフォルダとはマネージャーの管理フォルダで、お客様・工事一覧のツリーに表示されます。写真や書類を分類して管理する場合などに使用します。なお、新しい工事を作成したと同時に作成されるグループフォルダは、「設定」メニューの「初期設定」の「グループフォルダ」で設定します。

「お客様の登録」をクリックすると、お客様の登録ダイアログが開きます。お名前、フリガナ、工事No.、工事名称、工事内容、主構造、建物階数などを設定し、「登録」をクリックします。

工事を追加する

- 1 工事を追加のお客様を選びます。
- 2 「工事の作成」をクリックします。
- 3 工事名称や工事内容などを設定して、「登録」をクリックします。

お客様一覧から追加したいお客様を選び、「工事の作成」をクリックすると、工事の作成ダイアログが開きます。工事名称、工事内容、主構造、建物階数などを設定し、「登録」をクリックします。

お客様・工事の名前を変更するには

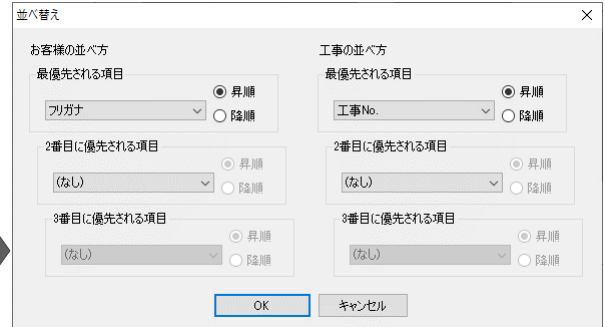
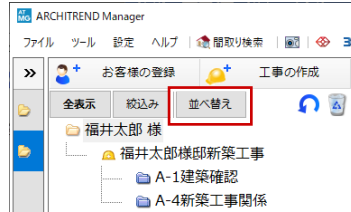
お客様または工事を選んで、ポップアップメニューから「名前の変更」を選びます。

お客様または工事を選択し、ポップアップメニューから「名前の変更」を選択すると、名前変更ダイアログが開きます。新しい名前を入力し、「OK」をクリックします。

補足

お客様・工事一覧を並べ替えるには

「並べ替え」をクリックして、「並べ替え」ダイアログで条件を設定します。「OK」をクリックすると、お客様・工事一覧の表示が並び替えられます。



補足

お客様や工事の情報について

お客様・工事一覧からお客様を選択すると、お客様の詳細情報や対応履歴を登録できます。



工事を選択すると、工事の詳細情報や業者・設備情報を登録できます。



2-2 データフォルダの追加

お客様によって保存場所を区別したい場合などは、新しいデータフォルダを作り、フォルダを切り替えて使用します。

1 「設定」メニューから「データフォルダの追加・編集」を選びます。

2 「データフォルダの追加・編集」ダイアログの「追加」をクリックします。

3 「お客様データフォルダ」ダイアログの「参照」をクリックしてフォルダを設定します。

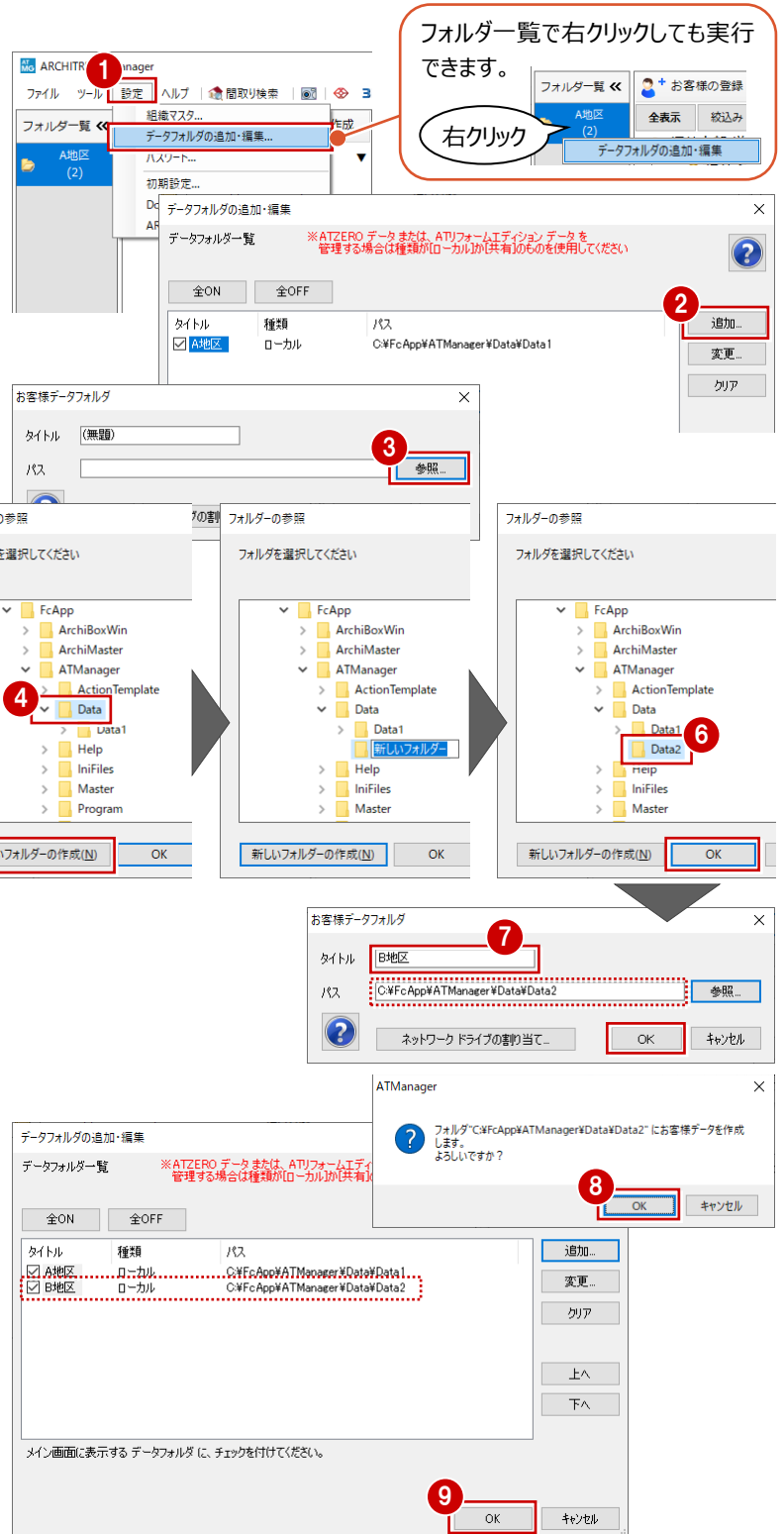
4,5 データフォルダを新規作成する場合は、作成する場所の上層のフォルダを選択して、「新しいフォルダの作成」をクリックします。

6 選択したフォルダの下層に新規フォルダが作成されるので、任意の名称（ここでは「Data2」）に変更して、「OK」をクリックします。

7 「お客様データフォルダ」ダイアログの「パス」に設定されます。「タイトル」を入力して、「OK」をクリックします。

8 確認画面で「OK」をクリックします。

9 「データフォルダの追加・編集」ダイアログのリストに追加されたことを確認して、「OK」をクリックします。マネージャーのフォルダ一覧にデータフォルダが追加されます。



タイトル

3

間取り検索

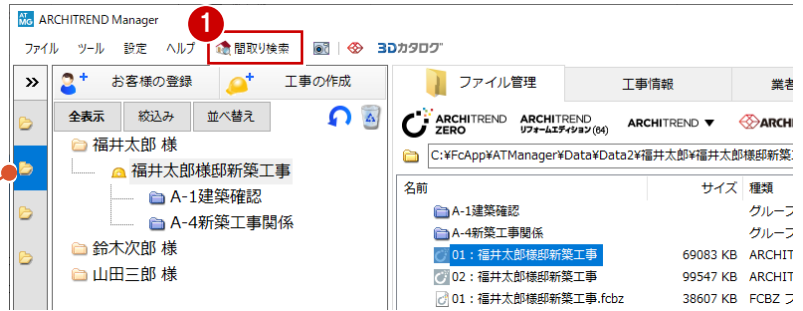
マネージャーのデータフォルダに登録されているZEROの物件データを一覧表示し、間取り検索を行うことができます。過去の物件データからプラン集を作成したり、新規物件の設計時に玄関方位や間口などから絞り込んで参考にするなど、既存データを有効活用できます。

3-1 間取りの検索

条件を指定して間取りを検索する

- 「間取り検索」をクリックします。マネージャーで選択しているデータフォルダの物件が一覧表示されます。

最初に間取り検索画面を開いたときは、選択しているデータフォルダのみが検索対象です。

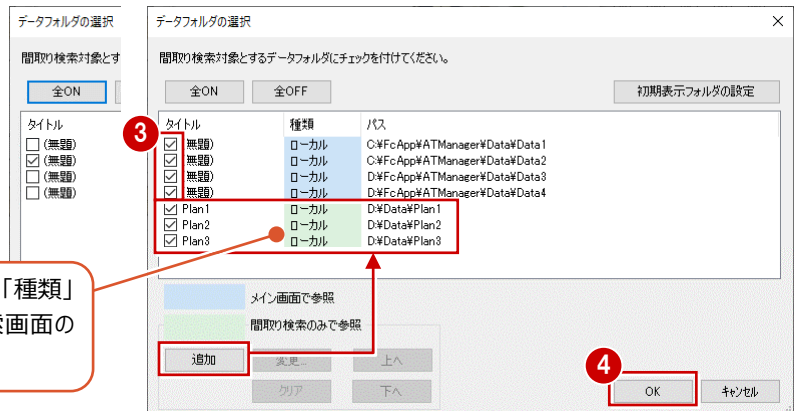


- 他のデータフォルダも検索対象にする場合は、「お客様データフォルダの選択」をクリックします。



- 検索対象とするデータフォルダにチェックを付けます。「追加」をクリックしてデータフォルダを追加することも可能です。マネージャーのメイン画面では使用していない過去の物件フォルダなども検索対象にできます。

この画面で追加したデータフォルダは、「種類」が緑色になります。また、間取り検索画面の一覧でも緑色に表示されます。



- 「OK」をクリックします。指定したデータフォルダの物件が一覧表示されます。



- 5 検索条件を設定します。
条件に合致した物件が一覧表示されます。

8 HITS

お客様データフォルダの選択

階数: 1階 2階 3階以上

玄関位置: 南 東 北 西

建物開口: 下限なし 上限なし

建物奥行: 下限なし 上限なし

部屋数: LDK DK

延床面積: 下限なし 上限なし

特長:

- 2世帯対応住宅
- 高齢者対策対応
- 二階続きの和室がある
- 車庫一体住宅
- 吹き抜けのある住宅
- 広縁、縁側のある住宅
- パルコニーのある住宅

構造: 木造 2X4 RC S SRC

トナリ: ... から ... まで

その他: 確定プランのみ

条件リセット

特長等の自動取得

1 福井太郎様邸新築工事
木造 2階建
延床面積: 112.61 m²
特長: 吹き抜けのある住宅, パルコニーのある住宅

2 福井太郎様邸新築工事
木造 2階建
延床面積: 112.61 m²
特長: 吹き抜けのある住宅, パルコニーのある住宅

3 外観: 洋風
木造 2階建
延床面積: 0.00 m²
特長: 吹き抜けのある住宅, パルコニーのある住宅

4 低炭素住宅申請図書サンプル
木造 2階建
延床面積: 121.72 m²
特長: 吹き抜けのある住宅, パルコニーのある住宅

「詳細」をクリックすると、
選択した物件の詳細を
確認できます。

間取り検索で選択したプランの
物件データが、マネージャーのメイ
ン画面で選択している工事フォル
ダにコピーされます。

マネージャーのメイン画面
に戻り、その物件が選択
された状態になります。

粗い画像で表示された場合
は、「詳細」をクリックするとプレ
ビューデータが作成されて精
細な画像になります。

補足

特長等の自動取得について

「特長等の自動取得」を実行すると、ZEROの物件情報から特長等を自動取得することができます。ただし、処理に時間がかかりますので、ご注意ください。

※ 詳細画面の「特長等の自動取得」は、詳細画面で表示している物件データのみ特長等を取ります。

特長等の自動取得

物件データから特長等を自動取得します。自動取得した場合、物件データの更新日時が変更されます。対象の物件データを指定してください。

全ての物件

特長等を未取得の物件のみ

OK キャンセル

物件情報 [変更]

物件 No: 001 作成日: 2018/12/17 更新日: 2019/07/01

物件名: 福井太郎様邸新築工事

備考:

担当者:

物件マスキング: 01 木造 2階

在来木造

ベントハウス: 階

地上: 2階

地下: 階

階高設定

仕様書からの入力 仕様書の選択

OK キャンセル

情報	地名地番	
面積	工事場所/住居表示	
施工主	工事種別	新築
責任者	建物開口	7.280 m
特長	建物奥行	9.100 m
	外観スタイル	和風
	屋根形状	切妻
	玄関位置	南
	部屋数	2 LDK
	地盤高	0 mm
	最高高さ	0.000 m

図面から自動取得

情報

面積

施工主

責任者

特長

2世帯対応住宅

高齢者対策対応

二階続きの和室がある

車庫一体住宅

吹き抜けのある住宅

広縁、縁側のある住宅

パルコニーのある住宅

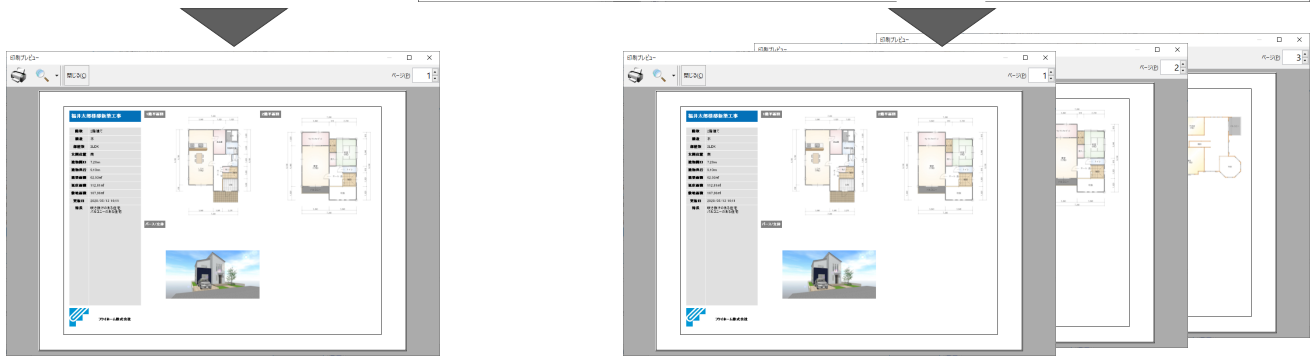
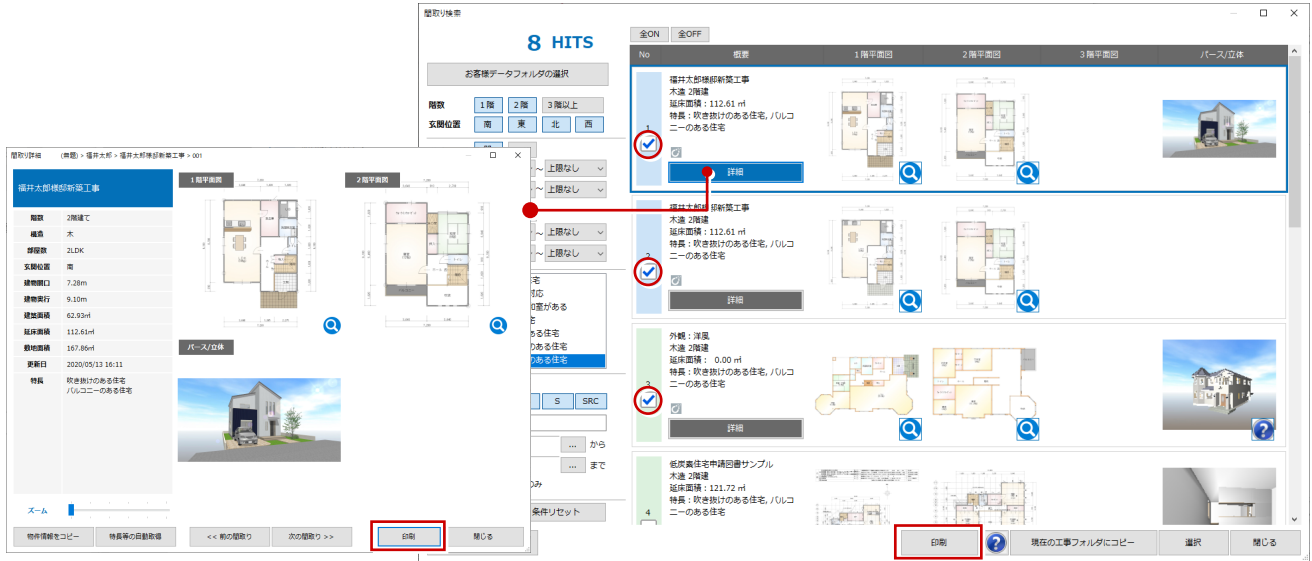
サンプルのある家

図面から自動取得 編集

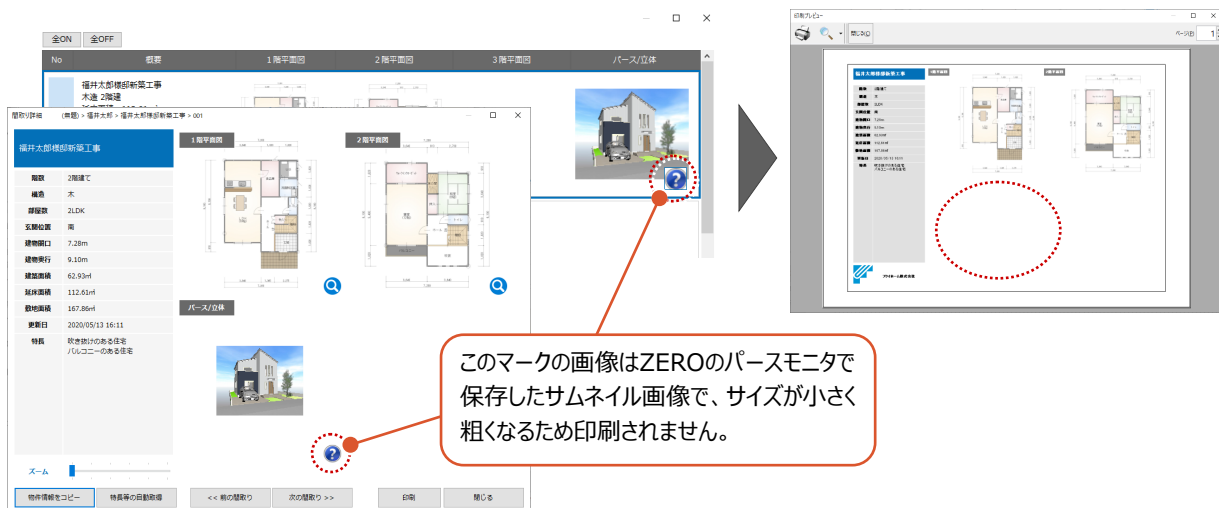
間取り検索の印刷について

検索した間取りは、一覧画面や詳細画面から印刷できます。

複数の間取りを印刷するには、一覧画面から印刷したい間取りのNoをONにして「印刷」をクリックします。



なお、「パース/立体」の画像に「？」マークがついている場合、この画像は印刷されません。



その場合、ZEROのプレゼンBoxで「外観パース 玄関方向」に画像を設定すると、印刷できるようになります。



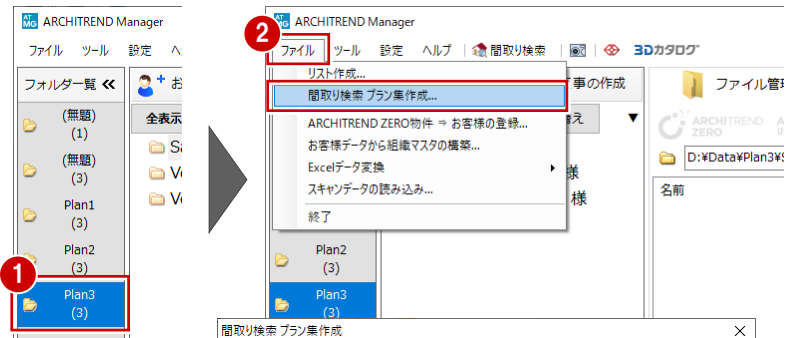
3-2 プラン集の作成

間取り検索で使用するプラン集のデータを作成します。

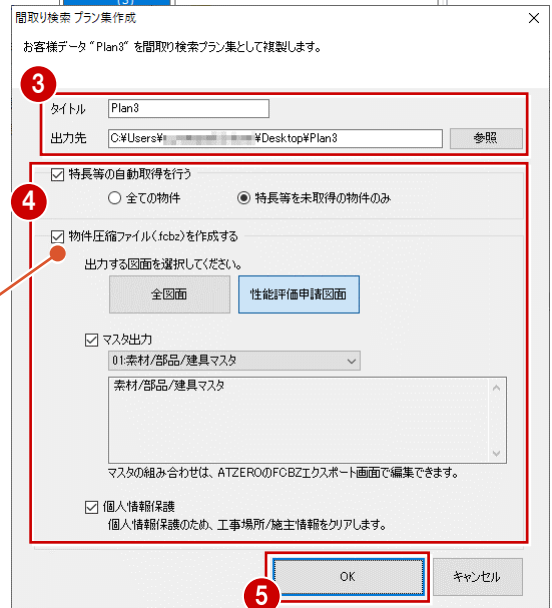
ZEROの物件データを圧縮ファイルで格納できるので、容量を削減でき、サーバーでの管理やDVD保存がしやすくなります。また、物件情報とプレビューデータのみでの間取り検索も可能です。

間取り検索用のプラン集を作成する

- 1 プラン集を作成するデータフォルダを選択します。
- 2 「ファイル」メニューから「間取り検索 プラン集作成」を選びます。



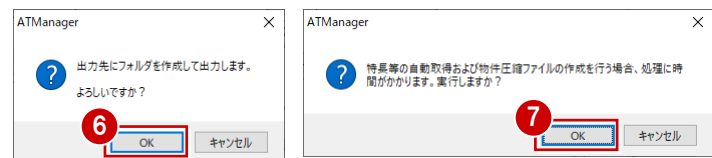
- 3 プラン集のタイトルや出力先を設定します。



「物件圧縮ファイル (.fcbz) を作成する」をONにした場合は、プラン集にZEROの物件データを圧縮ファイルで格納します。OFFの場合は、物件情報とプレビューデータのみでのプラン集になります。

- 5 「OK」をクリックします。

- 6 7 確認画面が表示された場合は「OK」をクリックして進みます。



- 8 完了の確認画面で「OK」をクリックします。

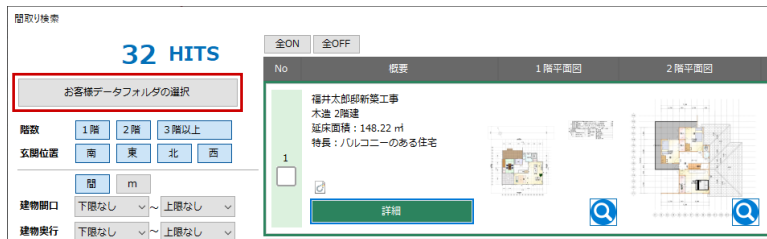
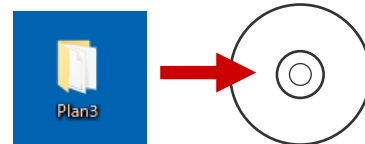


プラン集を DVD 等へ書き込んで使用するには

作成したプラン集をDVD等で使用する場合は、保存先のフォルダをDVD等へ書き込んでください。

間取り検索の「お客様データフォルダの選択」では、DVD内のフォルダを指定することも可能です。

※ マネージャーの「設定」メニューの「データフォルダの追加・編集」では、作成したプラン集のデータフォルダを指定できません。



また、デスクトップの「ATManager 間取り検索」アイコンをダブルクリックすると、間取り検索を単独で起動することができます。

※ 間取り検索の単独起動には、マネージャーがインストールされている必要があります。



4

データのバックアップ・リストア

ハードディスクの故障や誤操作によるファイルの削除など、万が一の場合に備えて、データやマスタは定期的にバックアップしておきましょう。バックアップの操作は、目的によって次のように異なります。

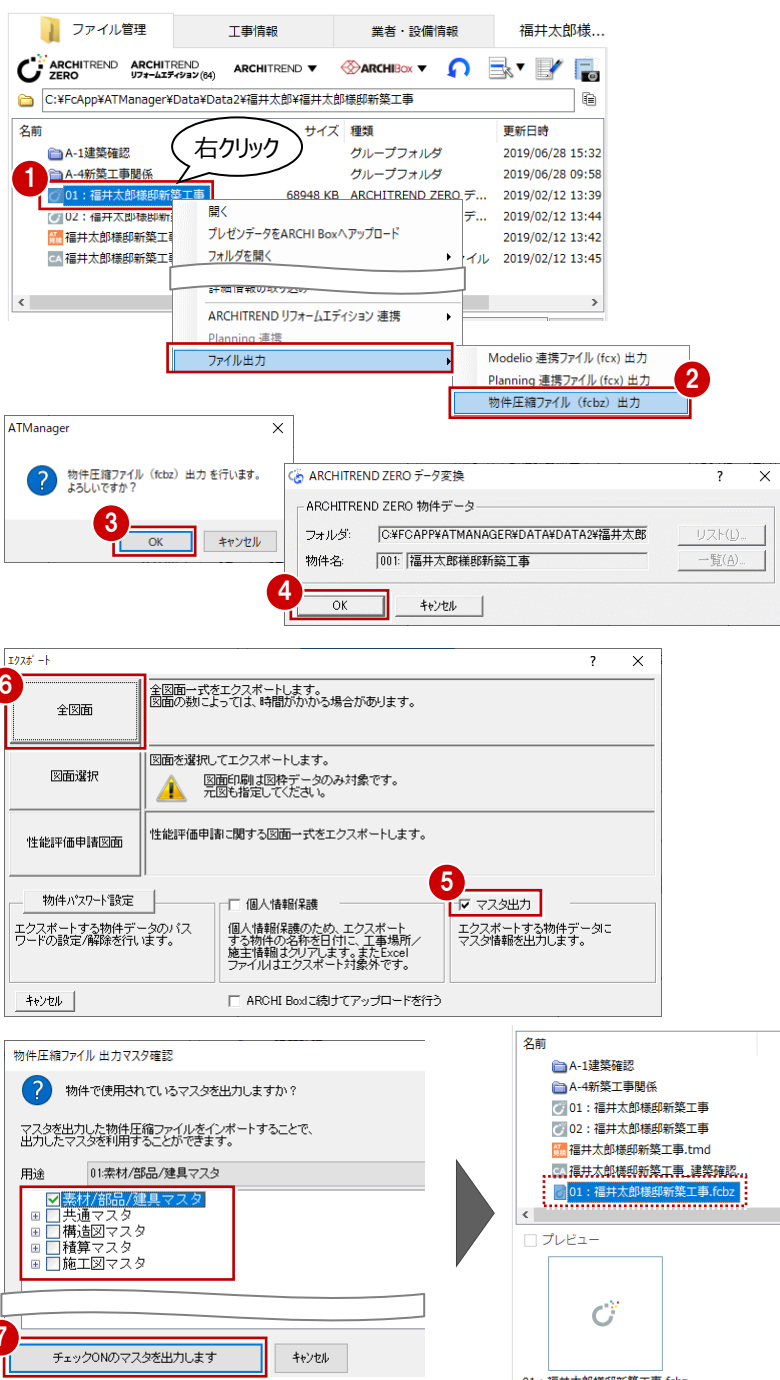
- (A) 物件データを圧縮して別ファイル (fcbz) に保存する ⇒ 「4-1 物件データのバックアップ」
- (B) 最終成果物 (保存版) となるデータをCDやDVDに書き込んでおく ⇒ 「4-2 お客様データのバックアップ」
- (C) 万が一の場合に備えて、別のマシンやドライブに、データやマスタを定期的にバックアップしておく ⇒ 「4-3 データフォルダ全体のバックアップ」

※ バックアップファイルは、CD-RやDVD-Rなどに直接書き込むことはできません。バックアップファイルをローカルディスクに保存した後、CDやDVDに書き込んでください。

4-1 物件データのバックアップ

物件データをバックアップする

- 1 マネージャーのファイル一覧で、バックアップするZEROの物件データを選択します。
- 2 右クリックして、「ファイル出力」の「物件圧縮ファイル (fcbz) 出力」を選びます。
- 3 確認画面で「OK」をクリックします。
- 4 「ARCHITREND ZERO データ変換」ダイアログで「OK」をクリックします。
- 5 素材などのマスタを出力するときは、「エクスポート」ダイアログの「マスタ出力」をONにします。
- 6 「全図面」をクリックします。
- 7 「物件圧縮ファイル 出力マスタ確認」ダイアログで、出力するマスタをONにして、「チェックONのマスタを出力します」をクリックします。
工事内に、物件圧縮ファイル (fcbz) が作成されます。



マスタデータの出力について

マスタデータも出力するとファイルサイズは大きくなりますが、マスタも同時に出力することをお勧めします。ファイルを受け取る側に同じマスタが存在しない場合、受け取り側で属性変更やパースモニタの再作成を行うとエラーが表示されてしまうためです。なお、マスタ込みのファイルをインポートする際は、取り込むマスタを選択できます。

物件データをリストアする

① 物件圧縮ファイル (fcbz) を新しい工事に入れて、ダブルクリックします。

② 「圧縮ファイルの起動」ダイアログが表示された場合は、実行するアプリケーション（ここではZERO）を選択します。

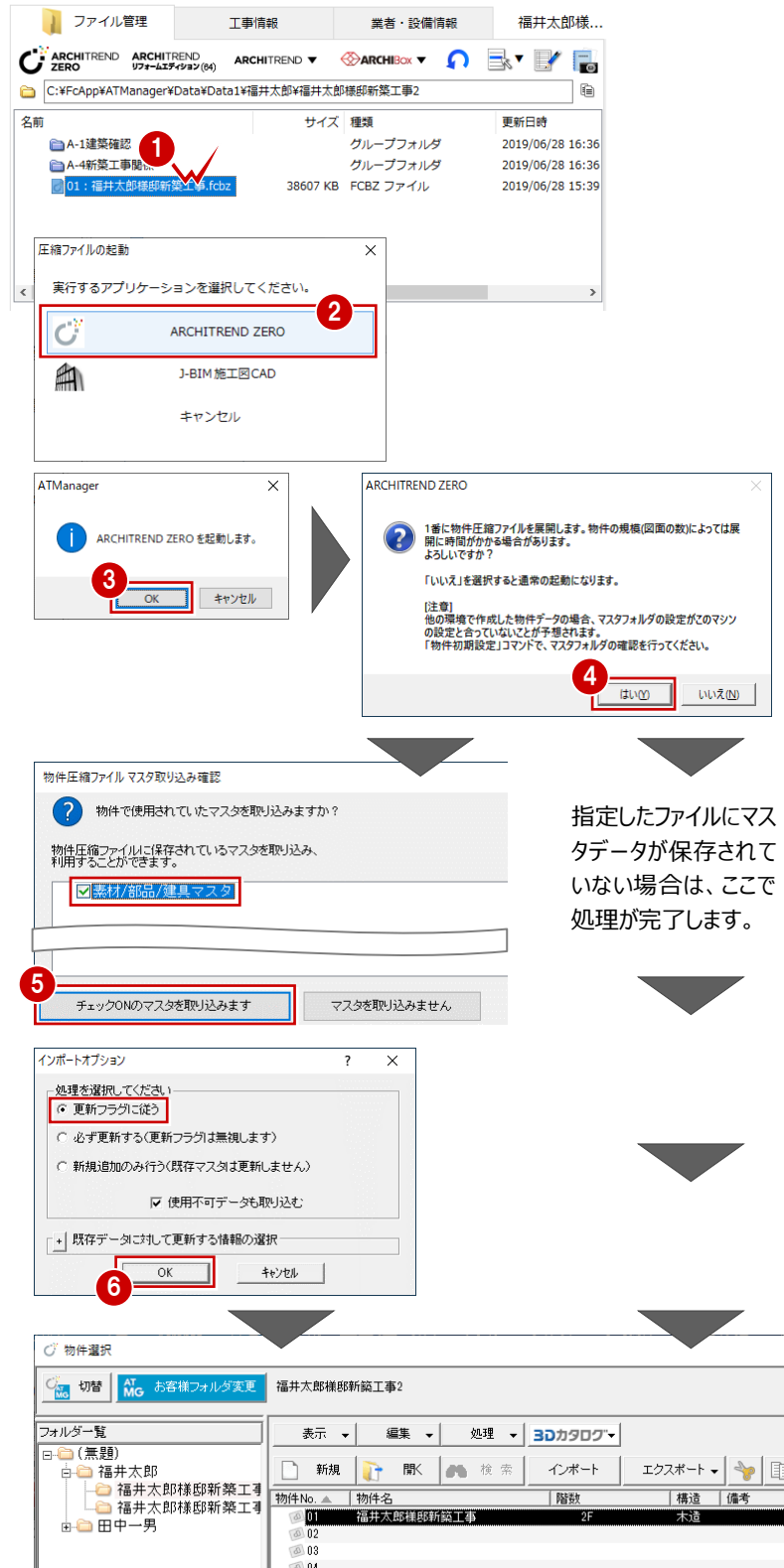
③ 起動の確認画面で「OK」をクリックします。ZERO が起動します。

④ 圧縮ファイル展開の確認画面で「はい」をクリックします。インポート処理が始まります。

⑤ 指定したファイルにマスタのデータが保存されている場合は、「物件圧縮ファイル マスタ取り込み確認」ダイアログが表示されます。取り込むマスタを確認して、「チェック ON のマスタを取り込みます」をクリックします。

⑥ 続けて、「インポートオプション」ダイアログが開くので、「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、「OK」をクリックします。

処理が完了すると、取り込まれた物件データが一覧に登録されます。

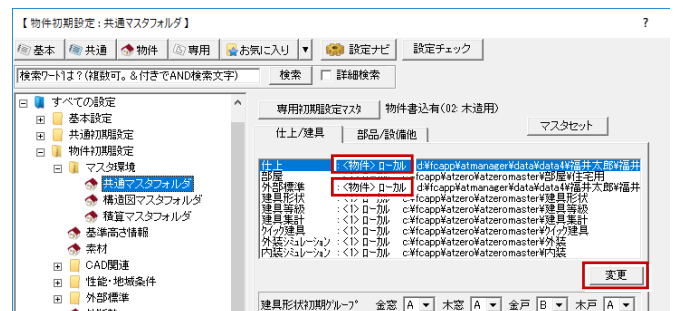


指定したファイルにマスタデータが保存されていない場合は、ここで処理が完了します。

共通マスタなどが保存されている場合は

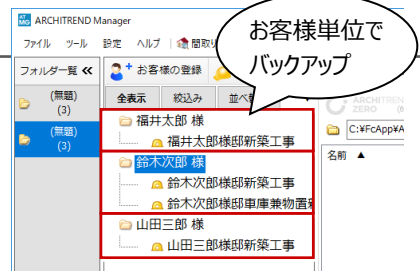
共通マスタが保存されている物件データをインポートすると、「物件初期設定：マスタ環境 - 共通マスタフォルダ」には物件保存マスタ（物件フォルダ≠物件保存マスタ）のフォルダが設定されます。

利用するマスタをシステムマスタに戻したい場合は、「変更」をクリックして切り替えます。



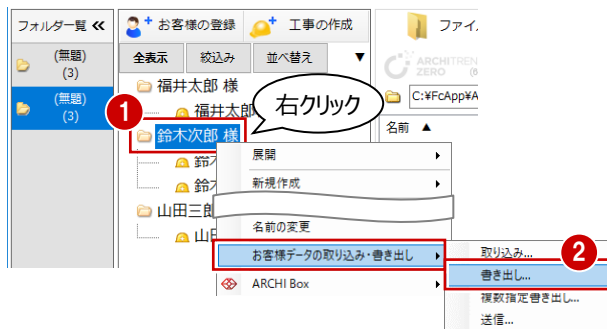
4-2 お客様データのバックアップ

マネージャーのデータをお客様ごとにファイル（.mgdz）に書き出して、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存します。

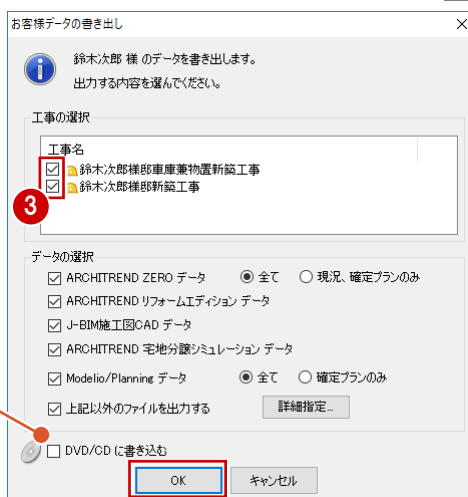


選択したお客様データを書き出す

- 1 一覧からバックアップするお客様を選びます。
- 2 右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「書き出し」を選びます。



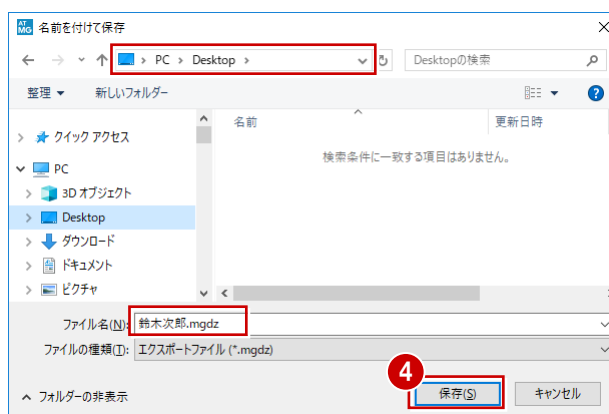
- 3 出力する工事にチェックを付けて、「OK」をクリックします。



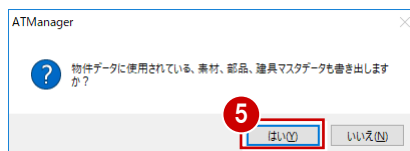
「DVD/CDに書き込む」をONにすると、出力先指定のダイアログは表示されずに既定のフォルダに書き出されます。

例) C:\FcApp\ATManager\CD_WORK¥

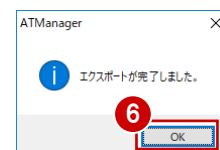
- 4 出力先とファイル名を確認して、「保存」をクリックします。



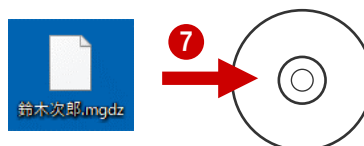
- 5 ZERO データで使用されている素材・部品・建具マスタのデータを出力するかどうかの確認画面が表示されるので、「はい」をクリックします。
⇒ P.10 参照



- 6 完了の確認画面で「OK」をクリックします。

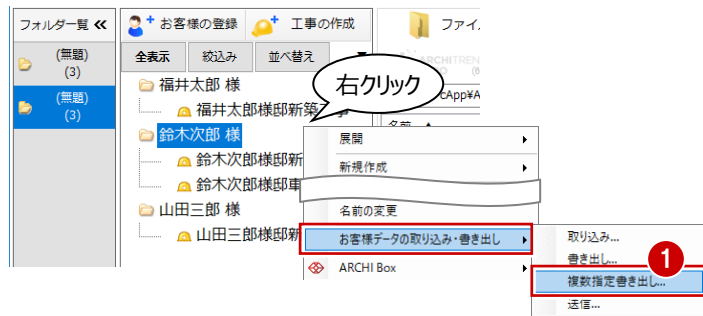


- 7 作成されたバックアップファイル（.mgdz）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。

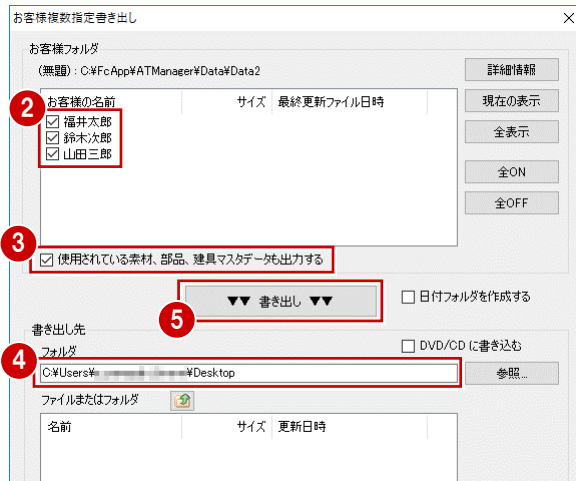


複数のお客様データを書き出す

- 1 右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「複数指定書き出し」を選びます。



- 2 出力のお客様にチェックを付けます。
- 3 「使用されている素材、部品、建具マスターデータも出力する」を ON にします。⇒ P.10 参照
- 4 出力先のフォルダを設定します。
- 5 「▼▼ 書き出し ▼▼」をクリックします。処理が始まります。

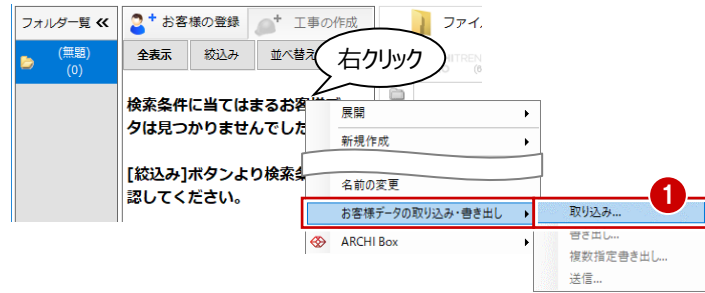


- 6 作成されたバックアップファイル (.mgdz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。



お客様データを取り込む

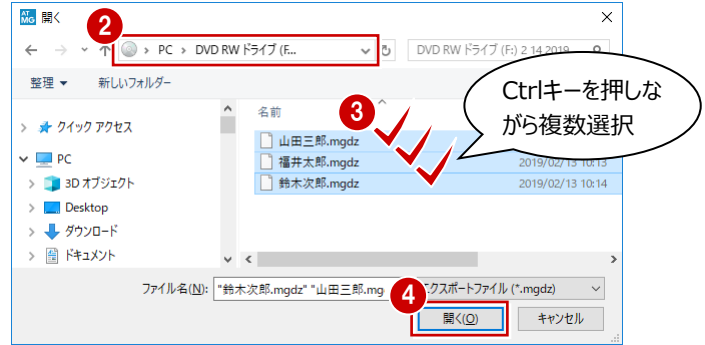
① 一覧で右クリックして、「お客様データの取り込み・書き出し」の「取り込み」を選びます。



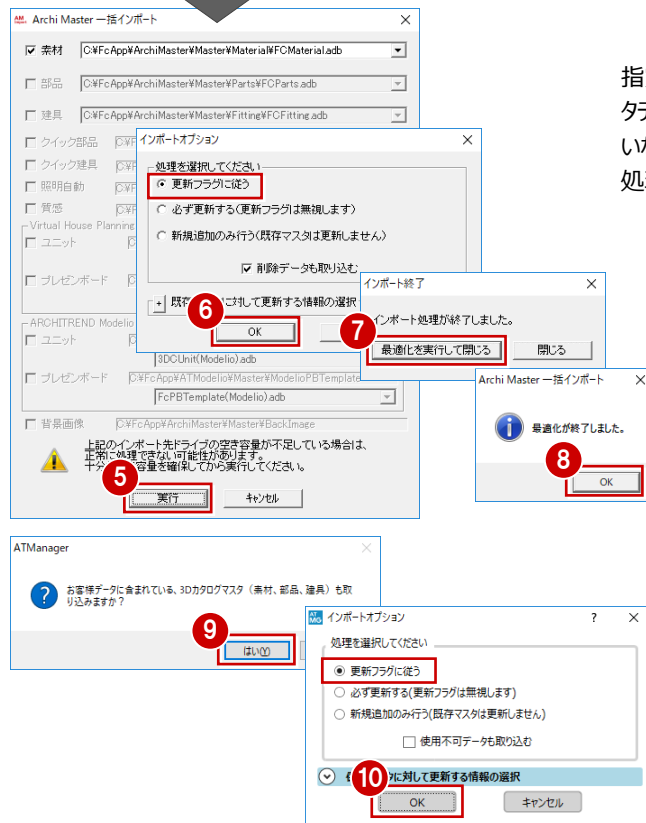
② バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

③ リストアするファイル (.mgdz) を選択します。Ctrl キーを押しながらクリックすると、複数選択できます。

④ 「開く」をクリックします。取り込みが始まります。



⑤～⑩ 指定したファイルに素材・部品・建具マスタのデータが保存されている場合は、マスタのインポート画面が表示されます。「更新フラグに従う」が選択されていることを確認して、Archi Master や 3D カタログマスタのデータも取り込みます。

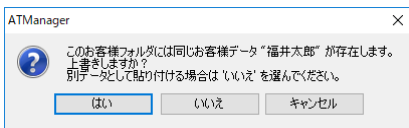


指定したファイルにマスタデータが保存されていない場合は、ここで処理が完了します。

同じお客様データが存在する場合

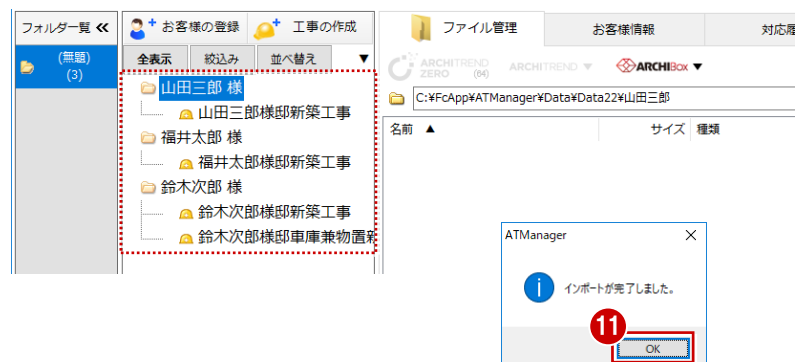
現在使用しているお客様データフォルダに同じお客様データが存在する場合は、「開く」をクリックした後、確認画面が表示されます。

「はい」：現在のお客様データに上書きする
 「いいえ」：お客様の名前の末尾に連番を付けて別のお客様データとして取り込む
 例) 福井太郎(1) 様



処理が完了すると、取り込まれたお客様データがお客様・工事一覧に表示されます。

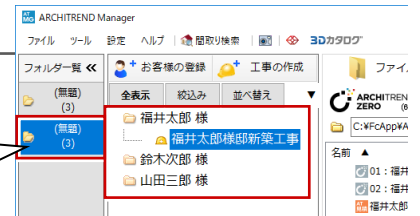
⑪ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



4-3 データフォルダ全体のバックアップ

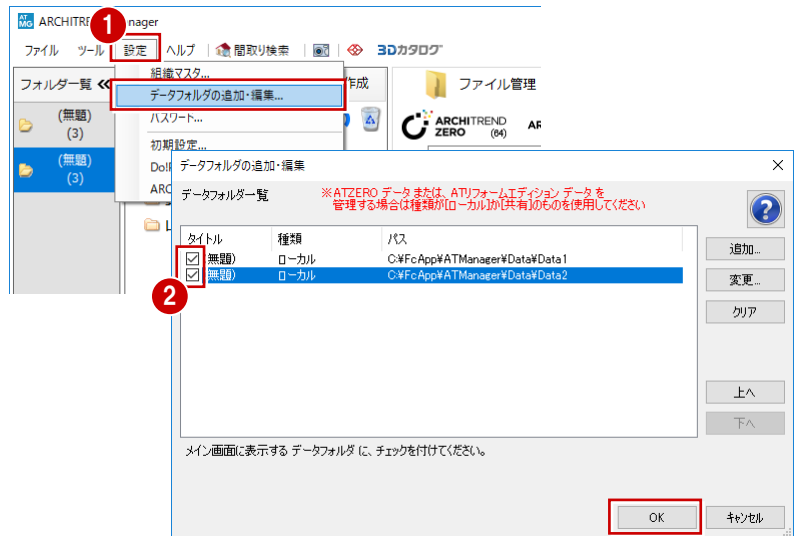
マネージャーのデータフォルダ単位でファイル（.mgcz）に書き出して、別の媒体（HDD、CD、DVDなど）に保存します。

フォルダ単位でバックアップ



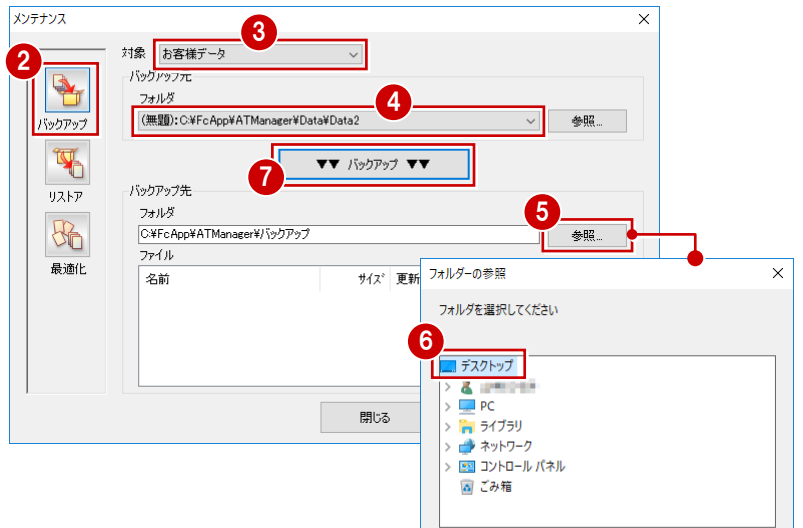
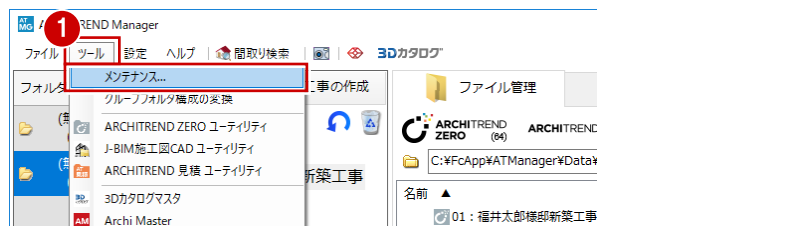
データフォルダを確認する

- 「設定」メニューから「データフォルダの追加・編集」を選びます。
- ※ ZERO が起動している場合は、ZERO を閉じてから操作を行ってください。
- バックアップしたいデータフォルダすべてにチェックを付けて、「OK」をクリックします。



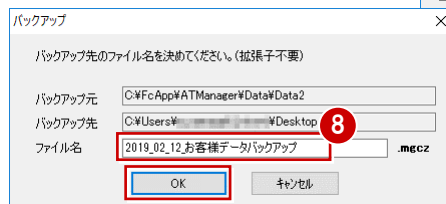
データフォルダをバックアップする

- 「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。
- 「バックアップ」が選ばれていることを確認します。
 - 「対象」が「お客様データ」になっていることを確認します。
 - バックアップするデータフォルダを選びます。
 - 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。

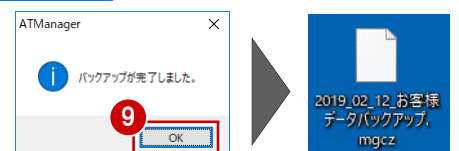


- 「▼▼ バックアップ ▼▼」をクリックします。
- バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。処理が始まります。

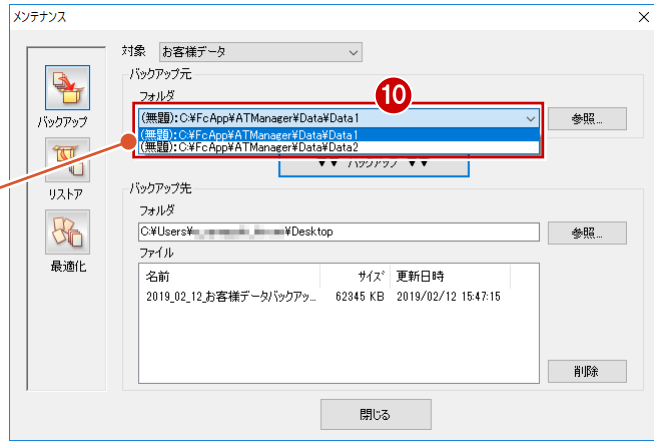
※ 物件数によって処理時間が異なります。



- 完了の確認画面で「OK」をクリックします。デスクトップにバックアップファイル（.mgcz）が作成されています。



- 10 別のデータフォルダを選択し、同様な手順でバックアップを行います。



- 11 作成されたバックアップファイル (.mgcz) を、別の媒体 (HDD、CD、DVD など) に保存します。

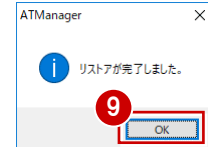
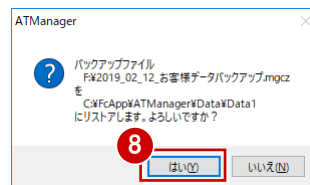
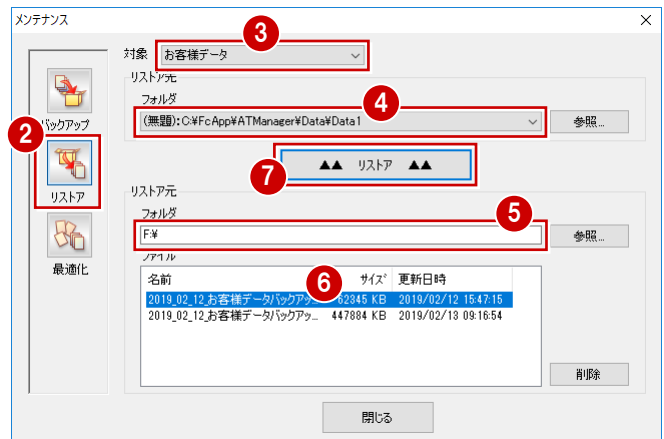


データフォルダをリストアする

- 1 マネージャーの「ツール」メニューから「メンテナンス」を選びます。

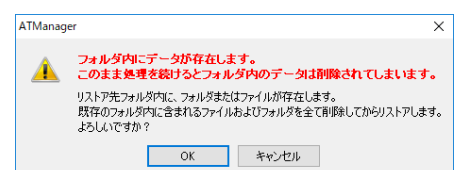


- 2 「リストア」をクリックします。
- 3 「対象」が「お客様データ」になっていることを確認します。
- 4 「リストア先」の「フォルダ」で、お客様データを復元するフォルダを指定します。
- 5 「リストア元」の「フォルダ」で、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。
- 6 リストアするファイル (.mgcz) を選択します。
- 7 「▲▲ リストア ▲▲」をクリックします。
- 8 確認画面で「はい」をクリックします。処理が始まります。
- 9 完了の確認画面で「OK」をクリックします。



リストア先にファイルが存在すると

リストア先のフォルダにファイルやフォルダが存在する場合、それらを削除するかどうかの確認画面が表示されます。フォルダ内のファイルやフォルダをすべて削除してからリストアするには「OK」を、リストア先を変更するには「キャンセル」を選びます。既存のお客様データフォルダをリストア先に指定した場合、「OK」をクリックすると、そのフォルダに保存されているお客様データはすべて消えますのでご注意ください。



5

マスタのバックアップ・リストア

ZEROで使用している物件マスタなど各種マスタのバックアップ・リストアは、マネージャーからユーティリティを起動して行います。ここでは、ZEROのすべてのマスタをバックアップする操作を解説します。

マスタを一括バックアップする

① 「ツール」メニューから「ARCHITREND ZERO ユーティリティ」を選びます。

※ ZERO が起動している場合は、ZERO を閉じてから操作を行ってください。

②③ 「バックアップ／リストア」の「一括バックアップ／リストア」タブをクリックします。

④ 確認画面で「OK」をクリックします。

⑤ バックアップ対象のバージョンを選びます。

⑥ 「バックアップ対象マスタを確認」をクリックして、対象となるマスタと参照フォルダを確認します。

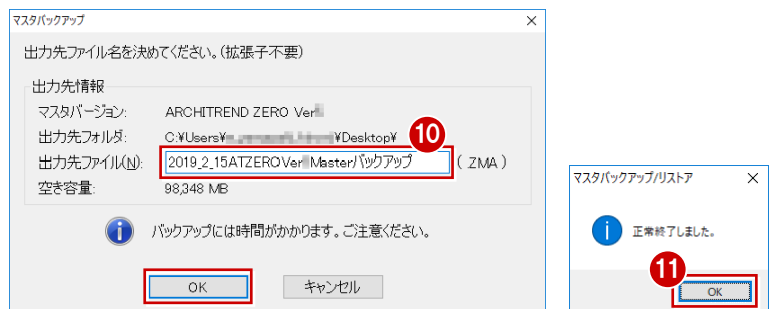
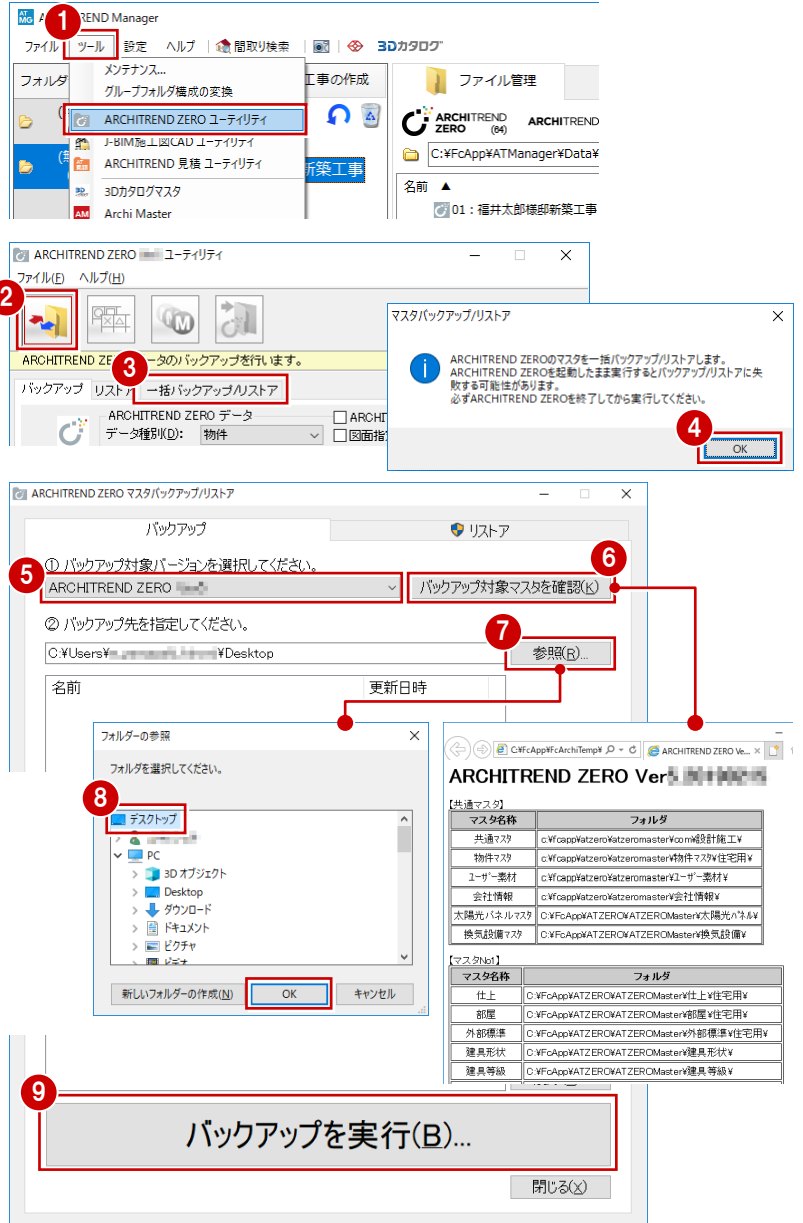
⑦⑧ 「参照」をクリックして、バックアップファイルを保存する場所を指定します。ここでは、「デスクトップ」を選んで「OK」をクリックします。

⑨ 「バックアップを実行」をクリックします。

⑩ バックアップファイルの名前を確認して、「OK」をクリックします。処理が始まります。

⑪ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。デスクトップにバックアップファイル（.ZMA）が作成されています。

⑫ 作成されたバックアップファイル（.ZMA）を、別の媒体（HDD、CD、DVD など）に保存します。



マスタを一括リストアする

①② ZERO のユーティリティを起動し、「バックアップ/リストア」の「一括バックアップ/リストア」タブをクリックします。

③ 確認画面で「OK」をクリックします。

④ 「リストア」タブをクリックします。

⑤ リストア先のバージョンを選びます。

⑥ 「参照」をクリックして、バックアップファイルが保存されているフォルダを指定します。

⑦ 一覧からバックアップファイルを選びます。

⑧ 「リストアを実行」をクリックします。

⑨ リストア先のフォルダ名を設定して、「OK」をクリックします。
処理が始まります。

通常のパス (C:\¥FcApp¥ATZERO¥ATZEROMaster) とは異なるフォルダ名が初期値として表示されます。
必ずリストア先の場所を確認してください。

⑩ 完了の確認画面で「OK」をクリックします。

⑪ 「閉じる」をクリックしてユーティリティに戻ります。

⑫ 「終了」をクリックしてユーティリティを閉じます。

⑬ ZERO を起動すると、マスタフォルダが⑨で指定したフォルダになっていることを確認できます。

